

告されているように（「2.2.3.6 学位授与・課程修了の認定」参照）、博士学位取得基準の改訂を踏まえた、後期課程の教育に関する理解と取り組みが実効をあげつつある。

（改善の具体的方策）

大学院教育における学生による授業評価のあり方については、大学院問題検討委員会を通じてその可能性を探る。

2.2.3.6 学位授与・課程修了の認定

【評価項目 6-6-1】 学位授与

- （必須要素） 修士・博士の各々の学位の授与状況と学位の授与方針・基準の適切性
- （必須要素） 学位審査の透明性・客観性を高める措置の導入状況とその適切性
- （選択要素） 修士論文に代替できる課題研究に対する学位認定の水準の適切性
- （選択要素） 学位論文審査における当該大学（院）関係者以外の研究者の関与の状況
- （選択要素） 留学生に学位を授与するにあたり、日本語指導等講じられている配慮措置の適切性

【評価項目 6-6-2】 課程修了の認定

- （必須要素） 標準修業年限未満で修了することを認めている大学院における、そうした措置の適切性、妥当性

<2003年度に設定した目標>

大学院問題検討委員会における検討を通じて、学位授与・課程修了の認定の改革と改善についてのたゆまぬ努力を継続する。当面の目標を次の通り設定する。

1. 博士学位取得基準の円滑な遂行を確実なものとし、優れた研究成果を携えた博士学位の取得者を安定的かつ継続的に輩出できるよう努力する。
2. 審査内容の客観性や公開性をさらに高める方法を検討する。

（現状の説明）

修士学位を授与される者は、毎年50名を超えている（2002年度62名）。修士論文の審査は、基本的には、当該専攻からの主査1名と副査2名の計3名が、論文審査と最終試験である口頭試問によって行う。審査基準については、各専攻とも長い伝統を踏まえ、比較的安定した高い水準を保っている。学位記に付される専攻分野の名称は、哲学、美学、芸術学、心理学、教育学、教育心理学、学校教育学、歴史学、地理学、文学、言語学の11種類である。

博士学位は、課程博士として、博士論文の審査に合格して博士課程を修了した者と、論文博士として、博士学位申請論文の審査に合格した者ともに授与される。それぞれ、毎年10名弱が学位を授与されている。学位論文は、課程博士、論文博士ともに、主査1名と副査2名、計3名からなる審査委員会によって審査が行われる。審査は、論文審査と最終試験である口頭試問によって行われる。副査のうち1名は、当該専攻以外の教員をもって充てるが、学外の教員を充てることもある。新しい博士学位取得基準をもとにして審査が行われる課程博士では、審査制度のある学術専門誌に発表論文のあることを博士論文提出の要件としており、評価の客観性を高めている。論文博士では、従来の申請者の年齢層は比較的高く、長年に亘る研究成果を集大成した申請論文が少なくなかったが、近年は30歳代の若

い世代による論文が増加しつつある。学位記に付される専攻分野の名称は、哲学、美学、芸術学、心理学、教育学、教育心理学、歴史学、地理学、文学、言語学の10種類である。

(点検・評価の結果)

現行の教育・研究指導の体制は安定的に機能しており、審査制度・審査基準についても適切性を維持している。修士学位の取得者は、2003年度55名、2004年度53名であり、前期課程学生数の若干の減少傾向を反映して、両年度とも2002年度（62名）を下回っている。後期課程では、2000年度から導入した新しい博士学位取得基準に従い、2003年度は博士論文計画書提出31件、博士予備論文提出6件、新基準での博士学位取得1件であり、2004年度は、博士論文計画書提出26件、博士予備論文提出9件、博士学位取得1件であった。博士予備論文件数の伸びを評価できる一方、博士学位取得件数のさらなる増加をはかる必要がある。

2002年度の課程博士は8件、論文博士は6件、2003年度の課程博士は8件（うち新制度1件）、論文博士は0件、2004年度の課程博士は2件（うち新制度1件）、論文博士は3件であった。このうち、当該大学関係者以外の研究者に副査の依頼を行ったケースは、2003年度が1件、2004年度が2件であり、学外の研究者を審査に加えることについては、なお積極的な取り組みを必要としている。

年度	課程博士	論文博士
2002	8	6
2003	8	0
2004	2	3

審査内容の客観性や公開性については、今後検討を加える予定である。

(改善の具体的方策)

課程博士の育成については、旧体制から新しい博士学位取得基準の新体制への移行期に当たっている。新制度への適応に遅れの見られる専攻がないかどうかを点検して、文学研究科全体としてバランスのとれた教育研究指導が行えるよう努力を続ける必要がある。